

令和4年度学校だより

学校教育目標 自主 責任 明朗



開校43年目

六中だより 12月号

〒352-0023 埼玉県新座市堀ノ内3-1 1-1

TEL 048-478-2764 FAX 048-482-0136

HP <http://www.c-niiza.ed.jp/j-dairoku>

全生徒数：657名



古きよき伝統文化の上に、さらなる前進を
～ 美しく・温かく・常に前進 ～

校長 齊藤 直之

先日のニュースで東京音頭は替え歌で、もと歌は丸の内音頭といい、戦前の1932年に作られたものだとして初めて知りました。

そのような中、国内41件の「盆踊り・風流踊」が、国連教育・科学・文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産への登録が決まりました。この中には、数百年を経るものも多くを占めています。無形文化遺産は、各国の芸能や祭礼などを保護する制度で、日本からは今まで歌舞伎や和食など22件が、登録されているそうです。

町内会などの盆踊りが、人口減少や過疎化による担い手不足で次々と姿を消している中で、今回登録される地域では、保存団体が伝承を支えてきました。

風流踊は、厄払いや豊作、雨乞いなどを目的とする民俗芸能で、地域の風土を反映しています。中には、数百年の歴史をもつものも多いそうです。

また、子供たちが舞う綾子踊（香川市まんのう町）の起源は、平安時代の干ばつの雨乞い踊りだという。戦後の混乱期に一時途絶えたものの、地元保存会が再興し、ひたひたと世代をつないできたのです。多くの地域が、衣装代などをまかなうのに苦労していて、今回のユネスコに登録されることで補助金の増額も可能となることは、伝承を大切に継いできた地域へのご褒美とも言えます。

さて、新座市の伝統芸能とは何がある

のでしょうか。興味があり、調べてみることにしました。

中野地区には、市の文化財に指定されている伝統行事「中野の獅子舞」があります。五穀豊穡と災厄消除などを祈願し、地域の方々によって大切に引き継がれ、毎年奉納（披露）されます。由来は江戸時代の初め頃と言われていて、京都の熊野神社から拝領した獅子頭が起源となるようです。男獅子・中獅子・女獅子の3体と、棒使い、山の神、花笠、高張提灯持ち、唄うたい、笛吹きからなり、祇園囃子の曲に合わせて獅子などが舞うそうです。

本校でも伝統文化と同様に、学校文化を伝承することの難しさについて考えさせられました。2年間行っていなかった体育祭、合唱コンクールを今年度実施し、多くの課題に直面しました。具体的な動き、モデルがないことは、進むべき道筋が見えない、不安なものでもあります。このコロナ禍を過ぎてから、どうやって学校の伝統を構築していくのか、新たな学校モデルが求められます。

本校は、地域に支えられて43年目となります。古きよき文化を大切にしながら、新たな文化の創造を地域と共に。

最近の町内会の盆踊りは、「ダンシングヒーロー」を挟み込むのがはやりだそうです。第六中学校は、今ある学校文化に何を新たに挟み込むのか、熟慮中です。